



経営戦略 ▶ パルコ事業革新

渋谷 PARCO 外観イメージ ©2019, Takenaka Corporation

# ブランド価値を増幅する、 “次世代パルコ”。



## 次世代パルコの象徴、新生渋谷 PARCO

渋谷 PARCO は、1973年にオープン以来、「インキュベーション」「街づくり」「情報発信」に取り組み、街を刺激し、同時に刺激をもらいながら渋谷の発展の一端を担ってきました。この3つの取り組みはパルコのDNAであり、原点であり、進化し続けるパルコの信念ともいえます。

渋谷 PARCO 建替え計画として2007年より検討を開始してきたこのプロジェクトは、2015年12月に都市再生特別地



渋谷 PARCO 4階「PARCO MUSEUM TOKYO」イメージ

区の決定を受け、市街地再開発事業として計画を進めてきました。次世代商業空間の創造に向けた店舗づくりの方向性では、任天堂の国内初の直営オフィシャルショップ「Nintendo TOKYO(ニンテンドートウキョウ)」のオープンやパルコ劇場の拡大など体験型コンテンツを拡充させるほか、ラグジュアリー、モード、ストリート・カルチャーのミックスによるファッションの再提案や、ICTを活用した未来型の売場づくりなどに取り組んでいます。

ニーズを満たすのではなく、ニーズを創造し、新しい消費提案・価値観を提供する——これまでの商業施設の枠を超え、デザイナー・クリエイターなどの送り手と共感・共創し、新たな取り組みを行うことで新しい刺激や楽しさの体験価値を提案し、グローバルに情報発信するビルを目指していきます。デザイン・アート性やエンタテインメント性の高い専門店を軸とした編集をし、渋谷 PARCO ならではの独自性を高めています。また、特定の年齢層や性別の方にターゲットを絞るのではなく、感性で消費をする「新しいこと、人と違うこと、面白いこと、個性を追求する」都市生活者が世界中から訪れる商業施設を目指します。個性あふれる魅力的なショップは約180店。「FASHION」「ART&CULTURE」「ENTERTAINMENT」「FOOD」

「TECHNOLOGY」の5本の柱で構成し、それぞれのジャンルをミックスし、お互いの魅力を引き出しあうフロア編集を行います。

次世代に向けたフラッグシップストアとして「パルコブランド」を進化させ、他の店舗へもブランド力を波及させていきたいと考えています。

## ショッピングとテクノロジーの融合

新生渋谷 PARCO 5階では店頭販売に加え、ECを併設したオムニチャンネル型売場「CUBE(仮称)」を展開。約130坪のエリアに11店舗の小型ショップが来店し、従来の売場より小さなスペース・店頭在庫数で、デジタルテクノロジーを活用して、お客様の求める商品に出会える店舗ゾーンにチャレンジします。ショールームの機能を高めたNEXT店舗として、戦略アイテムや限定商品を中心にそろえ、その他の商品はデジタルで在庫管理し、「PARCO ONLINE STORE」(EC)で販売します。共用部に設置する大型サイネージやショップ内サイネージでは、手持ちのスマートフォンへ直接データを転送し、店頭にはないオンライン上の商品をいつでも買うことができ、その場でストレスなく買い物ができる仕組みも整えています。



渋谷 PARCO 5階「CUBE PARCO(仮称)」イメージ

また、XR\*1技術を活用し、コンピューターで制作した3次元のクリエイティブ作品を、スマートフォンやAR対応グラスを通して、あたかもその場に存在するかのように展示する空間演出を実施します。2018年に実施したVRのコンテンツアワード「NEWVIEW AWARD 2018」でPARCO賞を受賞したVR空間デザイナーDiscont氏によるインスタレーション作品の展示を予定し、制作を進めています。

\*1 XRとはVR(Virtual Reality)・AR(Augment Reality)・MR(Mixed Reality)等の総称。

さらに1階には、日本初となるクラウドファンディングを活用した実証実験型AIショールーム「BOOSTER STUDIO by

CAMPFIRE」をオープン。ここでは、IoT製品などをはじめとした、世界中の世に出る前のユニークなデジタル製品やアイデアを実際に触れて試すことができます。

## ハード、ソフト両面による地域への貢献

新しい渋谷 PARCOが入居する当ビルは、地下1階～地上8階・10階一部を商業部分、9階をクリエイティブスタジオ(育成施設)、1階(エントランス)、10階一部及び12階～18階をオフィスとする地上19階・地下3階、延べ床面積約64,000㎡の公園通りのシンボルとなる施設として、ビルのハード・ソフトの両面から、「街づくり」へ貢献していきます。

ハード面では、周辺の歩道や敷地内の広場を整備し、歩行者のスペースを拡充することによって、街歩きしやすい環境を作り、地域のにぎわいの創出をはかります。また、地域荷捌き場や駐輪場をビル内に設けることで、街歩きへの妨げとなっている路上荷捌きや路上駐輪などの地域の課題へ取り組みました。さらに、このビルは①屋上広場・立体街路などの魅力的な屋外空間の創出②コージェネレーションシステム(CGS:熱源より電力と熱を生産し供給するシステムの総称)を中心とした高効率エネルギーシステムの積極的導入③デジタルコミュニケーションによるエネルギーの効率的利用の促進の取り組みが評価され、「サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)」として国土交通省より採択されました。最新設備機器の導入にとどまらず、エネルギー管理システムを活用した“見える化”により運転効率を高めた省CO<sub>2</sub>型の複合ビルを実現。“都市型ファッションビルにおける省CO<sub>2</sub>リーディングプロジェクト”として、他の複合施設へサステナブルを波及していきます。

一方、ソフト面では、ビルに設置した屋外広場で、地域と連動したイベントや、ファッションショー、音楽、フードイベントなど幅広いジャンルのイベントの開催を通じて、街場の活性化に貢献していきます。



渋谷 PARCO 10階 屋上広場イメージ ©2019, Takenaka Corporation